

2019 人文社会科学部後援会事業報告書

テーマ：歴史文化遺産実習

申請者：添田仁・佐々木啓

事業区分：学生の教育研究活動支援、学生の地域貢献

概要：「歴史文化遺産実習」は、歴史学や美術史学を学ぶ学生が、歴史資料・美術資料の取り扱い方の基礎を学ぶ授業である。博物館の学芸員、または自治体の文化財担当職員への就職を希望する学生の履修を推奨している。

11月4日（月祝）に、茨城県天心記念五浦美術館（北茨城市）の学芸員の協力を得て、同館において所蔵資料の保存・活用に関わる業務を体験的に行う学外実習を実施した。履修した学生にとっては、地域の文化財の保存と活用の方法について、実践的に学ぶことができる貴重な機会となった。

日程：2019年11月4日（月祝）

内容：茨城県天心記念五浦美術館（北茨城市）の学芸員の協力を得て、同館で地域歴史資料の保存・活用に関わる業務を体験的に行う学外実習を実施した。内容は、①岡倉天心の親族に宛てられた書簡類の整理作業（内容の記録、採寸、撮影など）、②バックヤード見学、③企画展示の閲覧である。これに加えて、④茨城大学五浦美術文化研究所の見学、⑤戦争遺跡（風船爆弾発射台）の見学を行った。参加した学生は、歴史資料や美術資料の取り扱い方の基礎を学ぶとともに、地域に残された文化遺産にかかわる保存・活用の現状と課題について認識を深めることができた。

なお、教員および学芸員が一度に対応できる人数に上限があるため、学生を午前組と午後組に分け、それぞれが同じ内容の実習を受けることができるように工夫をした。

学生一同、後援会の皆様のご支援に深く感謝いたします。



